真室川町教育委員会外部評価システムについて

１．はじめに

真室川町教育委員会では、「生きがいを感じ 幸せを感じるまち 真室川」を将来像とし、令和３年度からスタートした第６次真室川町総合計画にもとづき、「みんなで育む学びのまち」を基本目標に掲げ、「子育て支援の充実」「学校教育の充実」、「多様な学びの機会の充実」など、具体的な施策の実現に努めてきました。

また、令和元年度から５年間を計画期間とする「第一次真室川町教育振興計画」に基づき、掲げた目標の実現に向けて取り組んでいます。

このような中、すべての教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、その公表が義務付けられています。

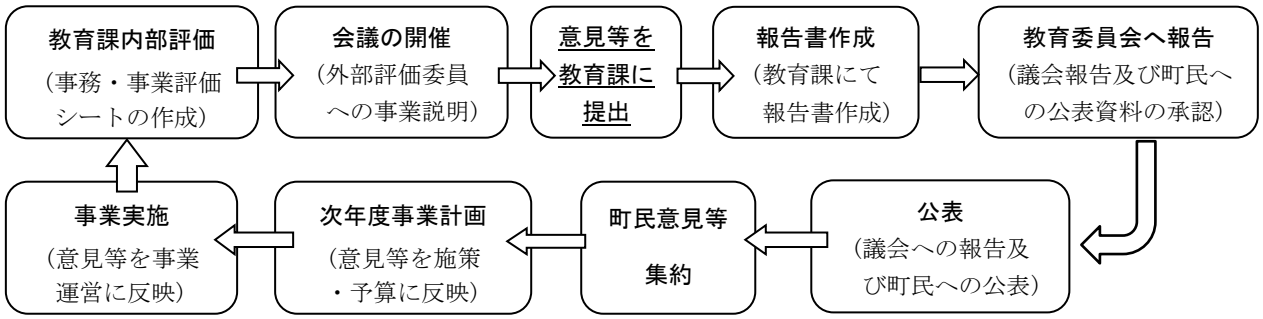
このことから当教育委員会では、教育行政サービスの更なる質の向上や効率化を推進し、町総合計画に掲げた基本目標の実現を図るために、平成 23 年度から外部評価委員を委嘱し、各事務・事業の点検及び評価を行う、「真室川町教育委員会外部評価システム」を導入しています。

２．外部評価システムの流れ

評価は各事務・事業について、担当係が評価シートを作成することから始まり、教育課内部による評価を行います。この内部評価について、学識経験者等で構成する「真室川町教育委員会外部評価委員」（以下「外部評価委員」という。）から、教育課内部評価の客観性の検証と改善等に関する意見をいただきます。

教育委員会では、外部評価委員の意見をもとに各事務・事業の最終方針を決定し、議会への報告及び町民への公表を行います。また、公表により町民の皆様からいただく意見・要望等も参考にしながら、今後の事業計画・運営に反映させるとともに、各事務・事業の改善に努め、町民の目線に立った教育行政の運営に努めます。

★評価システムの流れ



３．事務・事業評価シートの方法

（１）評価の対象とする事業

評価の対象とする事業は、令和元年度からスタートした第一次真室川町教育振興計画に基づいた、施策として掲げる事務・事業とします。

（２）内部評価におけるシート作成者と記入方法

内部評価による評価シートは、各事業担当係が作成し、主な事業内容と成果・課題、教育委員会の評価を記入します。

「目標指標一覧」には、計画策定時（原則、平成 30 年度）の数値に、参考として

山形県の数値を（　）書きで付記しています。また、計画終了時（令和５年度）の目標値と、点検・評価段階の現況値（令和５年度）を記載しています。

外部評価委員より、内部評価に係る事業内容や事業の評価について点検・検討を行い、外部評価に係る評価及び意見を記入します。

４．外部評価委員及び委員会の開催

No.	氏　　名	役　職　等（令和６年４月１日現在）	備　考
１	佐藤　　雅浩	最上広域青少年指導センター指導主幹 元真室川小学校長	
２	田中　　里美	元小学校講師 元まちなか図書館構想検討委員会委員	
３	髙橋　亜理紗	町スポーツ推進委員	

令和６年８月９日（金）に外部評価委員会を開催し、内部評価に係る目標に対する進捗状況や事業効果などについて点検・評価するとともに、外部評価及び評価に係る意見をいただきました。（資料は事前に配付し、効率的な会議運営に努めました。）

今回の事業評価を町民に公表し意見集約することで、教育委員会事務・事業を町民に理解していただき、教育行政への町民参加を推進する機会と位置付け、ＰＤＣＡサイクルを確立して、より効果的な教育行政の運営が図られるよう努めてまいります。

また、当該評価委員の意見を踏まえ、事務改善を更に進めながら、計画的かつ重点的な事業実施に努めてまいりたいと思います。

※事務事業評価シートは、別添のとおりです。